

## 令和2年度特別養護老人ホームしかまの里事業報告

### 1. 基本方針

- ・ 特別養護老人ホームしかまの里は、入居者と共に生きるを基本にした施設サービス計画に基づき、在宅生活に近い生活の充実と在宅への復帰を念頭において、生活上の世話・機能訓練・健康管理および療養上の介護を行うことにより、入居者各自の能力に応じた日常生活が営めるよう努めている。
- ・ 入居者の意思・人格を尊重し、常に入居者の立場にたって施設サービスの提供に努めている。
- ・ 家庭や地域との結びつきを大事にし、安らぎの持てる明るい雰囲気醸成に努めるとともに、他の施設・事業者との連携に努めている。

### 2. 施設の状況

#### (1) 設 備

居 室	4人部屋	12	1人部屋	22
浴 室	5	(一般(リフト)2、中間浴2、特殊1)		
デイルーム	2			
機能訓練室	2			

(2) 定 員                    70名

#### (3) 職員の状況

R3年3月末日現在

	基 準	配 置
施 設 長	1名	1名
副 施 設 長	1名	1名
事 務 長 補 佐	1名	1名
事 務 員	2名	2名
介 護 支 援 専 門 員	1名	2名(兼務)
管 理 栄 養 士	1名	1名
生 活 相 談 員	1名	1名
介 護 職 員	21名	26.9名
看 護 職 員	3名	5.3名
機 能 訓 練 指 導 員	1名	1名
医 師 ( 嘱 託 )	1名	1名

### 3. 入居者の状況

#### (1) 年 齢

令和3年3月末現在

	～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 ～ 84歳	85歳 ～ 89歳	90歳 ～ 94歳	95歳 ～ 99歳	100歳 ～	合計
男性	1	1	5	0	2	1	4	0	0	14
女性	0	2	5	7	12	14	7	5	3	55
全体	1	3	10	7	14	15	11	5	3	69

#### 参 考

	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
男 性	80.9歳	81.4歳	79.2歳	80.57歳	78.50歳
女 性	87.9歳	87.5歳	86.2歳	85.23歳	84.71歳
全 体	86.6歳	86.3歳	84.8歳	84.3歳	83.45歳

#### (2) 介護度

令和3年3月末現在

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計	平均
男 性	0	0	1	9	3	13	4.1
女 性	0	1	3	29	13	56	3.9
全 体	0	1	14	38	16	69	4

#### 参 考

	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
介護度平均	3.9	4.0	4.0	4.17	4.01

#### (3) 利用状況

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	0	0	383	937	740	2060
5月	0	0	383	977	749	2109
6月	0	0	360	937	684	1981
7月	0	0	372	1067	700	2139
8月	0	0	403	1047	713	2163
9月	0	0	362	957	686	2005
10月	0	0	372	1026	609	2007
11月	0	0	401	995	538	1934
12月	0	0	464	1077	527	2068
1月	0	0	431	1123	505	2059
2月	0	0	387	1091	425	1903
3月	0	31	387	1170	489	2077
計	0	31	4705	12404	7365	24505
1日平均	0	1	13.89	3398	20.18	67.14

※ 令和2年度の1日平均は 67.14人 令和1年度の1日平均は 67.91人

#### 4. 利用者の処遇

介護支援専門員と介護職員が入居者や家族から得た課題に基づいて作成したサービス計画によりサービスの提供に努めている。

##### (1) 介護 ゆとりサークルの取り組み

入浴 浴室に安全な個人入浴ができる設備器具を設置し、利用者に安全で安心して入浴して頂けるように取り組んでいる。

原則週2回であるがその方の状態に合わせて実施している。

排泄 オムツはずしの取り組みで、はくパンツの利用者が増えている。オムツ交換も個に合わせて対応している。

##### (2) 食事

- ・ 入居者の心身の状況を考慮した食事の提供に努めている。そして、嚥下機能低下された方についてもソフト食により少しでも形ある美味しい食事の提供に努めている。
- ・ 厨房で作られた食事をフロアで盛り付け、ご飯や味噌汁のにおいが食欲をそそる中で食事が始まるようにしている。
- ・ 食事時間の枠を2時間にし、食べたいときにゆっくりと食事ができるように配慮している。

##### (3) 健康管理、機能回復訓練

入居者の実態を的確に把握し、嘱託医師の指導を受けながら疾病の予防に努め、一人ひとりの入居者の健康状態に配慮している。また、サービス計画に基づき日常生活を営むために必要な機能の減退防止と回復のための機能回復訓練を行っている。また、理学療法士及び作業療法士によるレクリエーション活動を行っている。

##### (4) 環境の整備

- ・ 館内(居室、廊下)の掲示物等に季節感がもて入居者が安らぎが持てるよう工夫を凝らして整備に努めている。掲示に当たっては押しピンの使用はしないことを原則としている。
- ・ 特に居室については家族の手でお部屋作り(例として個人表札や家具の持込)をしていただくようにしている。春と秋の2回家族ふれあい清掃を実施しているが今年度はコロナの影響から実施できなかった。
- ・ 入居者が身に着けられるもの(寝巻き、下着類)についての清潔保持に配慮している。

## 5. 余暇活動等の実施状況

- (1) 余暇活動として、適時、色塗り・習字・創作活動・おやつレクなどを実施して楽しい時間作りに取り組んでいる。
  
- (2) デイサービスとの共同の喫茶スマイルを、1F 食堂で月1回月曜日から金曜日までの4日間の午後2時から3時まで実施し、利用者やご家族に楽しんでいただいていたが、コロナの影響から各フロアでおやつレク等を行い食べる楽しみを味わって頂けるように支援した。
  
- (3) 月1回の散髪  
J&Cによる有料で、利用者の好みに合わせた理髪を受けられるようにしている。
  
- (4) 散歩、買い物  
介護職員と、またご家族様と一緒に天気の良い日は、しかまの里の周りを散歩され、体力の増進と気分転換を図るようにしている。また、利用者様の希望にそって買い物の代行を行っておりお好きな物を買って、食べる楽しみ作りに取り組んでいる。
  
- (5) 年間行事  
季節に応じて、フロア毎に夏祭りや敬老会等、利用者に喜んで頂けるような活動を行い、楽しんで頂いている。いつもであれば家族様にも参加して頂いている行事もあるが、今年はコロナの影響からフロア内で活動を実施した。

## 令和2年度 ショートステイしかまの里事業報告

### 1. 基本方針

ショートステイは、介護者である家族等の都合(慶事、旅行等)で、短期に家族に代わって日常生活上必要なお世話をする制度で、ケアマネジャーのプランに基づき人間性の尊重を基底にして、利用者が明るく楽しい生活ができることを目指す。

### 2. 入所定員 10 名

### 3. 職員

管理者(兼務)	1 名 (常勤)
生活相談員(兼務)	1 名 (常勤)
介護職員(兼務)	3 名 (常勤)
栄養士(兼務)	1 名 (常勤)
合 計	7 名

### 4. 利用者の状況

(1) 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

	要援1	要援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計	1日平均
4月	0	1	40	38	68	38	74	259	8.63
5月	0	0	51	36	51	34	61	233	7.52
6月	0	2	39	33	52	57	70	253	8.43
7月	0	4	34	45	24	78	74	259	8.35
8月	0	0	39	47	54	75	72	287	9.26
9月	0	1	35	67	52	29	73	257	8.57
10月	0	0	41	44	61	38	79	263	8.48
11月	0	1	37	64	72	85	34	293	9.77
12月	0	2	45	40	45	90	40	262	8.45
1月	0	1	26	55	40	91	38	250	8.06
2月	0	3	25	53	50	90	34	252	8.69
3月	0	0	24	47	86	91	35	283	9.13
合 計	0	15	436	569	655	796	684	3151	
1日平均	0.00	0.04	1.19	1.56	1.79	2.18	1.87	8.61	

令和元年度の一日平均の利用者 8.61人 介護度の平均 3.2  
 平成30年度の一日平均の利用者 7.87人 介護度の平均 3.2

### 5. 取り組みについて

#### ○食 事について

昼食はメインのみセレクトメニューにし、嗜好に合わせてご利用者に選んで頂いている。また、アレルギー等、病状に応じた個別の対応を管理栄養士と連携して対応している。また、ゆっくりと穏やかな環境の中で食事ができるように、席の配慮や食事時の机の高さを考慮している。

○入 浴について

個々の状態に合わせた入浴方法で一人一人に寄り添った対応をしています。チェアー浴・パンジー浴・個浴・リフト浴があり、入浴時は身体の全身観察を行い、湿疹や剥離などがあれば看護師と連携し対応している。また、爪が伸びている方は爪切りなど整容にも気を付けている。

○排 泄について

職員の見守りの中で安全に行いながら、プライバシーの配慮に努めている。個々に応じてトイレ誘導を行っている。

○余暇活動について

フロアでは色ぬりや点つなぎ、数字合わせや間違い探しゲームなど、本人の希望に沿ったプログラムを用意している。

○機能訓練について

機能訓練指導員による機能訓練ではなく、日常生活の中で出来ることを基本としています。ご利用者のADLの状態にもよりますが、トイレまでの出引き歩行や車いすの自操等を職員と一緒にやっている。また、毎週月曜日にOTレクリエーションがあり、理学療法士の専門家による指導により、風船バレーや体操に参加されています。

○送迎について

訪問介護などによる送り出しについては、こちらがその時間に合わせて送迎を行っている。また、できる範囲での家族の要望に合わせた送迎時間の調整を行っています。

利用者への関わり

(1) 処遇

利用者の基本的人権を尊重し、温かい関わりの中で和やかで安全な一日一日を自分のスタイルで過ごしていただける環境づくりをとおして心身の健康保持に努めている。

(2) 給食

個々に合わせてカロリー及び栄養の配合に留意し、利用者の心身の状況を考慮して楽しい食事の提供に努めている。

(3) 環境の整備

現在ショートステイ利用者の居場所を2階フロアにしているので、行き届いた関わりができ、また利用者同士のつながりも密になり落ち着いた生活を送られている。

6. 健康管理・防災計画その他

特別養護老人ホームしかまの里と同じ

## 令和2年度 デイサービスセンターしかまの里事業報告

### 1. 基本方針

- ・要支援者への総合事業介護予防通所介護サービス、要介護者への通所介護サービスを提供することにより、要支援者・要介護者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持を図り、さらに家族の身体的、精神的負担の軽減をはかる取組みをする。
- ・要支援者・要介護者の心身の特性を把握し、その特性を踏まえて日常生活上必要なお世話と機能訓練を行う。
- ・地域との結びつきを重視し、保険者、居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所、その他保健医療サービスおよび福祉サービスを提供する機関との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

### 2. 施設の状況

#### (1) 職員

	定員	実人数
管理者(兼務)	1名	1名
生活相談員(兼務)	1名以上	2.5名
介護職員(兼務)	8名以上	11.5名
看護職員	2名	2.0名
機能訓練指導員	2名	2.5名

#### (2) 定員 50名

#### (3) 利用人数 営業日数 310日 令和2年4月1日～令和3年3月31日

	事業 対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	1日平均
4月	4	15	78	362	203	133	70	28	893	34.35
5月	5	8	76	354	186	127	63	29	848	32.62
6月	4	10	98	377	211	127	83	32	942	36.23
7月	4	16	122	396	195	150	92	34	1009	38.81
8月	5	11	109	355	197	157	82	32	948	36.46
9月	3	19	123	337	207	148	79	30	946	36.38
10月	5	15	125	365	214	146	86	40	996	38.89
11月	0	18	111	360	210	146	79	32	956	38.24
12月	3	18	123	395	203	164	97	37	1040	35.52
1月	4	18	98	350	184	121	75	28	878	38.58
2月	4	20	100	363	178	119	76	29	889	37.04
3月	8	28	134	378	208	138	85	36	1013	37.52
合計	49	196	1197	4392	2396	1676	967	387	11358	
1日平均	0.2	0.6	4.1	14.1	7.7	5.4	3.1	1.2		

令和2年度の1日平均利用者数 37.52人

平均介護度 1.78

令和元年度の1日平均利用者数 36.6人

平均介護度 1.89

### 3. 利用者の処遇

#### (1) 生活援助

人生の大先輩としての認識のもとに、どの利用者に対しても平等に接し、心身の健康保持と機能の回復・減退防止に努めている。また在宅生活を続けていくためにお一人お一人にあった自立支援サービスを行っている。

#### (2) 食 事

利用者の心身の状況に応じた個別の対応をとり、メイン料理を選択食（肉か魚）にしている。また、季節に合わせてイベント食を実施し、楽しみの持てる食を提供するとともに、管理栄養士による栄養バランスのとれた食事を提供している。

#### (3) 機能回復訓練

月に1回、中谷病院通所リハのPT（理学療法士）に来ていただき、新規利用者と状態変化の大きい方、個別機能訓練を希望されている方への機能訓練として、看護師がPTから指導を受けてお一人お一人その方にあった個別訓練を実施している。また、個別機能訓練をされている方は、三カ月に一度自宅に訪問し自宅での動作などを評価し、在宅生活を続けてられるように支援している。

#### (4) 環境の整備

日常使用される日常動作訓練室および食堂の美化に努め、作り上げた作品の掲示とレクレーションで使用する用具の収納に有能に工夫を凝らし、生き生きとした環境の創造に努めている。

#### (5) 利用者の送迎について

大型車5台と小型車2台を使って、1日5名の運転員としかまの里の職員5名が一台に2名ずつ乗り込んで、安全な送迎に努めている。

### 4. 健康管理

サービスの始まりである家庭への出迎えから、一日の活動が終って家庭への送りが終了するまで利用者の健康状態に留意し、特に体温・血圧等のバイタルチェックをもとにして、健康管理に努めている。

### 5. 防災計画

施設が実施する消防訓練に参加し、避難・消火などの消防訓練をとおして職員・利用者の防火意識の向上に努めて入る。

### 6. 日 課

迎え、送迎バス出発	8 : 25
送迎バス帰着	9 : 00
休憩・お茶・健康チェック	9 : 15
入浴・個別レクレーション	
健康体操	9 : 30
食事・休憩	12 : 00
レクレーション等	14 : 00
おやつ・娯楽	15 : 00
帰宅、送迎バス出発	16 : 45

## 7. レクリエーション等

- カラオケのほか書道や創作活動、囲碁・将棋など、利用者の機能を考慮した職員によるレクリエーションを多数行っている。
- 季節行事  
七夕会、デイ夏祭り、敬老会等
- ボランティアとして、個人ボランティアの活動も定着している。

## 8. その他

- 中重度ケア加算をとっており、中重度の方に対してのケアの充実に取り組んでいる。
- コロナの予防に努め、利用者の状態に気を付けて感染予防に取り組んでいる。

## 令和2年度 第二デイサービスセンターしかまの里事業報告

### 1. 基本方針

- ・要支援者への介護予防通所介護サービス、要介護者への通所介護サービスを提供することにより、要支援者・要介護者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持を図り、さらに家族の身体的、精神的負担の軽減をはかる取組みをする。
- ・要支援者・要介護者の心身の特性を把握し、その特性を踏まえて日常生活上必要なお世話と機能訓練を行う。
- ・地域との結びつきを重視し、保険者、居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所、その他保健医療サービスおよび福祉サービスを提供する機関との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

### 2. 施設の状況

#### (1) 職員

	定員	実人数
管理者（兼務）	1名	1名
生活相談員	1名	1名
介護職員	4名	8名
看護職員・機能訓練指導員	2名	3.5名

#### (2) 定員 32名

#### (3) 利用人数 営業日数 日 令和2年4月1日～令和3年3月31日

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	1日平均
4月	19	46	270	170	22	60	17	604	23.23
5月	20	39	248	200	60	61	19	647	24.88
6月	28	57	267	216	75	70	16	729	28.04
7月	40	58	285	179	69	60	17	708	26.22
8月	31	67	253	171	77	64	10	673	25.88
9月	31	69	292	141	90	58	21	702	23.23
10月	37	63	280	154	125	65	18	742	27.48
11月	42	52	256	163	93	60	21	687	27.48
12月	45	57	270	172	90	62	23	719	26.63
1月	40	43	238	139	83	42	21	606	25.25
2月	33	43	199	158	70	46	17	566	23.58
3月	55	47	220	177	77	56	16	648	24.00
合計	542	641	3,078	2040	931	704	216	8071	
1日平均	1.39	2.12	10.2	6.74	3.03	2.33	0.71		

令和2年度1日平均利用者数 25.82人 平均介護度 1.82

令和1年度1日平均利用者数 27.18人 平均介護度 1.66

### 3. 利用者の処遇

#### (1) 生活援助

人生の大先輩としての認識のもとに、どの利用者に対しても平等に接し、心身の健康保持と機能の回復・減退防止に努めている。また、住み慣れた地域、家で暮らし続けることができるよう自立に向けた生活援助に取り組んでいる。

#### (2) 食 事

- ・利用者の心身の状況に応じた個別の対応をとっており、食器も陶器を使用し、家庭的な雰囲気の中で楽しく食事ができるように工夫している。
- ・利用者お一人お一人の食事形態に合わせて、主食は米飯、粥、おにぎりを提供し、副食に関しては、普通食、刻み、ソフト食、ミキサー食で提供している。
- ・かつおのたたき、寒ブリのさばき、お寿司バイキング、お好み焼きなどのイベント食や、そうめん、栗ごはん等、季節に合わせた食事を提供している。

#### (3) 環境の整備等

- ・使用されるリビング・日常動作訓練室・静養室の美化に努め、落ち着いて過ごせる環境の創造に努めている。
- ・スウェーデン方式の清掃システムを採用し、感染予防と環境を重視した安全で安心な掃除を行っている。
- ・次亜塩素酸のクリニカルウォーター加湿器を活用し、感染予防を心がけている。

#### (5) 利用者の送迎について

- ・セレナ 2 台と、キャラバン 1 台、軽四自動車 3 台を使って、各ご家庭まで安全に送迎を行っている。  
セレナ、キャラバンには専属の運転手と補助の介護職員が各 1 名ついて対応している。

### 4. 健康管理

- ・サービスの始まりである家庭への出迎えから、一日の活動が終って家庭への送りが終了するまで利用者の健康状態に留意し、特に体温・血圧等のバイタルチェックをもとにして健康管理に努めている。  
入浴もその方の状態に合わせて、安心安全な浴槽で対応している。

### 5. 防災計画

- ・毎月一回、第二デイサービスに備え付けられている防火設備を使って、避難・消火などの避難訓練を行い、職員・利用者の防火意識の向上に努めている。

## 6. 日 課

迎え、送迎バス出発	8 : 3 0
送迎バス帰着	9 ; 1 0
休憩・お茶・健康チェック	9 : 1 5
入浴・個別レクリエーション	
健康体操	9 : 4 5
食事・休憩	1 2 : 0 0
レクリエーション等	1 4 ; 0 0
おやつ・娯楽	1 5 ; 0 0
帰宅、送迎バス出発	1 6 : 4 5

## 7. レクリエーション等

- ・利用者に合わせた時間の過ごし方を考え、その中に職員が入って関わりを続けている。季節行事の花見等の屋外散策も利用者の方の希望をくんで実施した。
- ・レクリエーションを通して、身体機能の維持ができるよう看護師と相談しながらタオル体操、セラバンド、ボール体操を行っている。また、楽しく身体を動かすことができるように、音楽に合わせた体操も取り入れている。
- ・利用者の要望を聞きながら、塗り絵、小物作り、壁画作りを提供し、作品が出来上がる喜びや自身が持ちことができるように取り組んでいる。そして、自分たちが作った作品を地域の金融機関や正面玄関に壁画として貼り出すことで、目的を持つことで生活に張りがある、生活の活性化が図れるなどの効果も見られている。

## 令和2年度 ケアプランセンターしかまの里事業報告

### 1. 事業の目的

要支援・要介護者等(以下要介護者)の依頼を受け、その心身の状況と置かれている状況、本人および家族の希望等を勘案して居宅サービス計画を作成するとともに、サービス計画に基づき、各サービスの提供が確保されるよう各事業者との連絡を密にしている。

さらに、事業の実施に当たっては、地域包括支援センター、他の居宅支援事業所、介護保険施設等との連携を図り、総合的なサービスの提供に努め、平成18年度の介護保険法の改正による要支援Ⅰおよび要支援Ⅱの者に対する介護予防計画の作成については地域包括支援センターとの委託により行っている。

(平成29年4月1日より、介護予防サービスのうち「介護予防訪問介護」「介護予防通所介護」は、総合事業の「介護予防・生活支援サービス事業」に移行となっている。)

### 2. 職員配置

	定 員	実 人 数
管理者(主任介護支援専門員)	1 名	1 名
介護支援専門員	1 名以上	2 名

### 3. 営業日および営業時間

営業日 月曜日から金曜日まで  
ただし、祝日、12月29日から1月3日までを除く。  
営業時間 8:45～17:30、電話による連絡は24時間可能

4. 営業区域 通常の事業の実施地域は、姫路市(家島町・安富町・夢前町除く)、の区域とする。

### 5. 業務の概要

- (1) 要支援者・要介護者の自立支援を目標に、ケアプランの作成に努めている。そして評価を行い、ケアプランの変更の必要性の検討を行っている。
- (2) 他の指定居宅介護支援事業者、指定居宅サービス事業者、介護老人保健施設等との連携に努めている。
  - ・ 通常の事業の実施地域等を勘案し、利用申込者に対し居宅介護支援が困難であると認める場合には、他の居宅介護支援事業所を紹介するなど連携に努めた。
  - ・ 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき適切な介護保険サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮している。

6.参考事項

(1) 居宅介護支援総括

令和2年4月～令和3年3月末までの状況

	登録数	要Ⅰ	要Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ	合計	平均介護度
4月	109	12	7	35	18	10	8	5	95	2.08
5月	112	12	10	38	18	10	9	5	102	2.06
6月	110	11	8	33	19	9	9	5	94	2.12
7月	114	13	11	39	22	9	9	5	108	2.04
8月	117	12	10	38	21	11	9	5	106	2.07
9月	119	12	13	40	19	12	9	4	109	2.02
10月	681	72	59	223	117	61	53	29	614	2.06
11月	119	12	14	39	20	13	8	3	109	1.99
12月	119	12	14	39	19	13	6	3	106	1.94
1月	120	12	15	40	18	13	8	4	110	2.01
2月	120	11	15	38	19	12	9	4	108	2.05
3月	121	10	15	36	17	14	11	4	107	2.15
合計	1397	139	148	450	229	139	107	51	1263	
平均	119.3	11.2	14.8	37.8	18.7	13.0	9.0	3.7	108.2	2.06

令和2年度1日平均利用者数 108.2人 平均介護度は 2.06

令和元年度1日平均利用者数 102.3人 平均介護度は 2.02

(2) 月別給付管理件数

令和2年4月～令和3年3月末までの状況

	登録合計	介護給付	予防給付	新規契約	包括移管	支 援 終 了				支援終了 合計
						死 亡	施設入所	事業所変更	非該当	
4月	109	76	19	5	0	2	1	0	0	3
5月	112	80	22	3	0	0	2	0	0	2
6月	110	75	19	0	0	1	0	0	0	1
7月	114	84	24	6	0	0	1	0	0	1
8月	117	84	22	3	0	1	0	0	0	1
9月	119	84	25	3	0	0	1	0	0	1
10月	119	83	26	3	0	1	2	0	0	3
11月	119	80	26	2	0	0	2	0	1	3
12月	120	83	27	3	0	0	0	0	0	0
1月	120	82	26	1	0	1	0	0	1	2
2月	121	82	25	2	0	4	0	0	0	4
3月	117	83	26	4	0	2	1	0	3	6
合計	1397	976	287	35	0	12	10	0	5	27
月平均	116	81	24	2.9	0	1	0.8	0	0.4	2.3

(3) 居宅介護支援加算表

	初回 加算	入院時 情報連 携 (I)	入院時 情報連 携 (II)	退院・ 退所 カンフ ァ有 (2) (I)	退院・ 退所 カンフ ァ有 (2) (II)	退院・ 退所 カンフ ァ有 (2) (III)	退院・ 退所 カンフ ァ無 (1) (I)	退院・ 退所 カンフ ァ無 (1) (II)	ターミ ナル	緊急時 カンフ ァ	小規模 連携	延べ 合計
単 位	300	200	100	600	750	900	450	600	400	200	300	
4月	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,900
5月	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,300
6月	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	600
7月	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,600
8月	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,300
9月	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,100
10 月	4	5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3,550
11 月	2	5	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2,650
12 月	5	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3,150
1月	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	900
2月	5	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2,350
3月	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,900
合計	51	40	1	2	0	0	6	0	0	0	0	27,300
年平 均	4.3	3.3	0.1	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2,275

7. その他

○ 現在ケアマネ 3名と事務職員1名の職員配置となっている。

## 令和2年度 第二ケアプランセンターしかまの里事業報告

### 1. 事業の目的

要支援・要介護等(以下要介護者)の依頼を受け、その心身の状況と置かれている状況、要介護等およびその家族希望等を勘案して居宅サービス計画を作成するとともに、サービス計画に基づき、各サービスの提供が確保されるよう各事業者との連絡を密にしている。

さらに、事業の実施に当たっては、地域包括支援センター、他の居宅支援事業所、介護保険施設等との連携を図り、総合的なサービスの提供に努め、平成18年度の介護保険法の改正による要支援Ⅰおよび要支援Ⅱの者に対する介護予防計画の作成については地域包括支援センターとの委託により行っている。

(平成29年4月1日より、介護予防サービスのうち「介護予防訪問介護」「介護予防通所介護」は、総合事業の「介護予防・生活支援サービス事業」に移行となっている。)

### 2. 職員配置

	定 員	実 人 数
管理者(介護支援専門員と兼務)	1 名	1 名
介護支援専門員	1 名以上	2 名

### 3. 営業日および営業時間

営業日 月曜日から金曜日まで  
ただし、祝日、12月29日から1月3日までを除く。  
営業時間 8:45～17:30、電話による連絡は24時間可能

4. 営業区域 通常の事業の実施地域は、姫路市(家島町・安富町・夢前町除く)、の区域とする。

### 5. 業務の概要

- (1) 要支援者・要介護者が居宅サービスを適切に利用できるよう、ケアプランの作成に努めている。そして評価を行い、ケアプランの変更の必要性の検討を行っている。
- (2) 他の指定居宅介護支援事業者、指定居宅サービス事業者、介護老人保健施設等との連携に努めている。
  - ・ 通常の事業の実施地域等を勘案し、利用申込者に対し居宅介護支援が困難であると認める場合には、他の居宅介護支援事業所を紹介するなど連携に努めた。
  - ・ 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき適切な介護保険サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮している。

6.参考事項

(1) 居宅介護支援総括

令和2年4月～令和3年3月末までの状況

	登録数	要支Ⅰ	要支Ⅱ	介護Ⅰ	介護Ⅱ	介護Ⅲ	介護Ⅳ	介護Ⅴ	合計	平均介護度
4月	109	11	11	34	21	12	7	2	98	1.97
5月	114	10	13	38	22	13	7	2	105	1.94
6月	115	11	13	37	22	14	6	3	106	1.98
7月	114	11	13	38	22	13	6	3	106	1.95
8月	116	12	14	40	21	13	6	2	108	1.89
9月	119	12	14	40	21	13	6	3	109	1.93
10月	117	11	13	40	21	12	6	2	105	1.88
11月	117	11	14	39	21	13	7	2	107	1.93
12月	119	11	14	39	22	12	7	3	108	1.95
1月	115	10	14	37	22	11	8	2	104	1.95
2月	114	11	14	34	25	9	7	2	102	1.94
3月	104	11	13	35	24	7	7	2	99	1.89
合計	1373	132	160	451	264	142	80	28	1257	
平均	114.4	11.0	13.3	37.6	22.0	11.8	6.7	2.3	104.8	1.93

令和2年度の一日平均利用者数は104.8人 利用者の平均介護度は1.93

(2) 月別給付管理件数

令和2年4月～令和3年3月末までの状況

	登録合計	介護給付	予防給付	新規契約	包括移管	支 援 終 了				支援終了 合計
						死 亡	施設入所	事業所変更	非該当	
4月	109	76	22	1	0	0	2	0	0	2
5月	114	82	23	5	0	0	1	0	0	1
6月	115	82	24	2	0	1	3	0	0	4
7月	114	82	24	4	1	0	1	1	0	2
8月	116	82	26	4	0	1	1	0	0	2
9月	119	83	26	6	0	1	3	0	0	4
10月	117	81	24	2	0	1	0	0	0	1
11月	117	82	25	0	0	0	1	0	0	1
12月	119	83	25	3	2	0	1	0	1	2
1月	115	80	24	1	0	0	1	1	1	3
2月	114	77	25	1	1	1	1	0	0	2
3月	104	75	24	1	0	1	1	0	7	9
合計	1373	965	292	30	4	6	16	2	9	33
月平均	114	80	24	2.5	0.3	0.5	1.3	0.2	0.8	2.8

(3) 居宅介護支援加算表

	初回 加算	入院時 情報連 携(Ⅰ)	入院時 情報連 携(Ⅱ)	退院・ 退所 カンフ ァ有 (2) (Ⅰ)	退院・ 退所 カンフ ァ有 (2) (Ⅱ)	退院・ 退所 カンフ ァ有 (2) (Ⅲ)	退院・ 退所 カンフ ァ無 (1) (Ⅰ)	退院・ 退所 カンフ ァ無 (1) (Ⅱ)	ターミ ナル	緊急時 カンフ ァ	小規模 連携	延べ 合計
単 位	300	200	100	600	750	900	450	600	400	200	300	
4月	3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1550
5月	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1500
6月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300
7月	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1900
8月	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1600
9月	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2500
10 月	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1200
11 月	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1000
12 月	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1900
1月	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	900
2月	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1050
3月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	600
合計	38	14	3	0	0	0	2	1	0	0	0	16000
年平 均	3.2	1.2	0.3	0	0	0	0.2	0.1	0	0	0	1333

7. その他

○ 現在ケアマネ 3名と事務職員1名(兼務)の職員配置となっている。

# 令和2年度 姫路市飾磨西地域包括支援センター事業報告

## 1. 事業の目的

地域の高齢者等の心身の健康の保持増進及び生活の安定のための必要な援助を行うことを業務とし、地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援する中核機関として設置されている。

## 2. 職員配置

職 種	配 置 人 数			指定基準
	常 勤	非常勤	パート	
管 理 者 社会福祉士 ( 兼 務 )	1 名			1 名
主任介護支援専門員	1 名			1 名
看 護 師	1 名			1 名
社 会 福 祉 士	1 名			1 名
認知症担当職員	1 名			1 名
介護支援専門員	3 名		1 名	2.4 名
計	8 名	0 名	1 名	7.4 名

## 3. 事業の実施

### (1) 営業日及び営業時間

月曜日～金曜日 8:35 ～ 17:20

### (2) 定休日

土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

## 4. 事業実施地域

・英賀保小学校区・津田小学校区

## 5. 業務の概要

### (1) 介護予防普及啓発事業業務

#### ○介護予防事業

- ・介護予防啓発活動(非該当リスト者の訪問、介護予防教室の開催など)
- ・いきいき百歳体操自主活動グループ立ち上げ支援

### (2) 総合相談支援業務

○地域高齢者等に関する様々な相談を総合的に受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、ワンストップサービスの拠点としての役割を行う。

#### ○実態把握

- ・支援が必要な人に適切な支援を提供すること、地域の福祉的生活ニーズを把握する
- ・担当圏域の高齢者の状況を把握することを目的とし、個別訪問や地域のネットワークによる聞き取りを通して情報を収集する。

#### ○権利擁護業務

- ・認知症高齢者、独居等で生活困難を抱える高齢者、権利侵害を受けている高齢者等で自分の権利行使が十分にできない方の権利を守るための支援を行う。
  - ・高齢者虐待対応・高齢者虐待防止の啓発と予防・消費者被害の把握、対応、防止
  - ・成年後見制度等の啓発、利用促進、申し立て支援

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

○「高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる地域づくり」のために、医療機関や地域の関係機関など（介護サービス事業者、民生委員、ボランティアなど）との連携体制づくりを進める。

- ・介護支援専門員同士のネットワーク構築支援（交流会）
- ・介護支援専門員の実践力向上支援（ブロック研修の開催等）

○個々の介護支援専門員が抱えている支援困難ケースに対して支援や助言を行う

(4) 認知症地域支援業務

○認知症等を含む高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることが出来る地域を目指した地域支援

○認知症サロンの運営支援

○認知症に関する社会資源等の情報収集と提供

(5) 地域包括ケアシステムの構築

○地域の関係機関、病院、多職種や自治会、民生委員等とのネットワーク構築

○地域ケア会議の開催

○生活支援体制検討会議への参加

(6) 指定介護予防支援事業

○要支援認定者、事業対象者に対する予防給付、介護予防ケアマネジメントにかかる、ケアプランサービス計画の立案、調整、給付管理・請求を行う

7. 参考事項

(1) 地域包括支援センター介護予防給付及び介護予防ケアマネジメント給付実績

	社福 1	主ケ 2	保健	社福 2	認担	プラン 1	プラン 2	プラン 3	プラン 4	プラン 5	委	合計
4月	9	14	0	12	-	58	61	48	35	15	131	383
5月	8	14	8	14	-	59	65	52	35	5	125	385
6月	8	15	10	14	3	60	66	53	33	4	123	389
7月	8	15	9	13	3	62	66	55	25	14	120	390
8月	7	15	10	12	3	63	64	55	25	18	121	393
9月	7	14	9	14	0	60	64	56	26	20	112	385
10月	7	13	10	15	-	55	63	56	26	23	121	389
11月	6	13	10	15	-	58	62	57	26	23	120	390
12月	6	14	10	14	-	57	62	58	23	24	118	386
1月	4	15	10	13	-	48	61	56	25	25	119	376
2月	6	15	12	13	-	41	60	59	25	28	121	378
3月	6	15	12	12	-	41	65	60	26	33	131	401
合計	80	172	110	161	12	662	759	665	330	232	1,462	4,645

## (2) 地域包括支援センター活動実績

	いき百グループ	認知症サロン	安心サポーター	虐待対応	実態把握	住改理由書作成	CM支援	CM同行	地域ケア会議
4月	0	0	0	1	15	0	5	11	3
5月	0	0	0	2	18	0	6	12	2
6月	11	0	4	4	18	0	6	10	2
7月	15	4	8	4	16	0	6	12	1
8月	14	6	8	2	18	0	7	13	1
9月	15	4	8	2	16	0	5	10	1
10月	15	4	10	1	18	0	1	10	0
11月	16	4	6	2	18	0	5	10	0
12月	15	5	6	2	15	0	3	6	1
1月	16	4	8	3	15	0	6	12	0
2月	12	1	6	2	15	0	4	17	0
3月	16	2	8	1	15	0	7	22	0
合計	145	34	72	26	197	0	61	145	11

## (3) 地域包括支援センター登録者数

	登録者数	新規	終了				合計
	(末日)		要介護認定	施設入所	死亡	その他	
4月	402	8	2	0	0	2	4
5月	403	4	2	0	0	1	3
6月	408	10	0	0	0	0	0
7月	409	5	0	0	2	0	2
8月	411	6	1	0	0	0	1
9月	403	8	2	0	0	2	4
10月	407	4	2	0	0	1	3
11月	409	7	0	0	1	1	2
12月	404	6	3	1	1	1	6
1月	395	9	1	0	1	1	3
2月	396	6	2	0	1	0	3
3月	419	15	1	0	1	0	1
合計	4,866	88	16	1	6	9	32

## 令和2年度 ふれあいサロンなかよし事業報告

### 1. 事業の目的

在宅高齢者に対し、日曜日等のデイサービスセンターの休業日にデイサービスの場所と設備を提供し、利用者が共同で自主的に「ふれあいサロンなかよし」を運営して頂くことにより、社会的孤立感の解消及び健康状態の維持、さらに自立生活の助長、生きがいの促進を図る。

### 2. 利用対象者等

(1) 利用定員 15名程度

(2) 利用対象者

おおむね65歳以上の在宅高齢者

(3) 利用できる校区

高浜校区を中心とする。それ以外の校区であっても利用可能とする。  
但し、しかまの里の車での送迎は行わない。

### 3. 職員配置

この活動のための職員配置は行わないが、なにかあれば日直業務の職員が対応していく。

### 4. 利用日・利用時間並びにサービス内容

(1) 年末・年始、祭日を除く通常の日曜日

(2) 利用時間

午前10時 ～ 午後3時

(3) 活動内容

趣味活動、カラオケなど利用者主体の活動

(4) 管理栄養士が栄養面を考えて調理した食事の提供とお茶の提供を行う。

### 5. 利用実績

○コロナの影響から、今年度は感染拡大を防止するため活動が出来ませんでした。

R3年度は地域の感染状況を把握し開催時期のタイミングを計りながら実施していき、感染予防対策にも取り組んでいきたいと思っております。

又、継続的に活動が難しい場合は、配食サービス等も視野に入れて検討していきたいと思っております。

# 令和2年度 生き生き100歳体操とふれあいサロン(認知症カフェ)事業報告

## 1. 事業の目的

在宅高齢者に対し、日曜日等のデイサービスセンターの休業日にデイサービスの場所と設備を提供し、利用者が共同で自主的に「ふれあいサロン(認知症カフェ)」や「いきいき百歳体操」を運営して頂くことにより、社会的孤立感の解消及び健康状態の維持、さらに自立生活の助長、生きがいの促進を図る。

## 2. 利用対象者等

(1) 利用定員 15名程度

(2) 利用対象者

おおむね65歳以上の在宅高齢者 婦人会メンバー

(3) 利用できる校区

高浜校区を中心とする。それ以外の校区であっても利用可能とする。  
但し、しかまの里の車での送迎は行わない。

## 3. 対応職員

この活動のための職員配置は行わないが、なにかあれば日直業務の職員が対応していく。

## 4. サービス内容

(1) 年末・年始、祭日を除く通常の日曜日

(2) 利用時間

午前10時 ～ 午後3時

(3) 活動内容

生き生き100歳体操・・・DVD(体操)が使える器具を用意し、自主的に動画を活用しながら体操をして頂く。ダンベル等の道具は用意していく。

ふれあいサロン・・・お湯とコーヒー等は用意し、ダイルールの場所を開放しお茶を飲んで交流して頂く。

(4) 活動場所

しかまの里1階フロア

## 5. 利用実績

○今年はコロナの影響により、いつも利用してくれていた方達からしかまの里での実施を自粛され、近くの植木自治会館に場所を代えて実行されています。

3年度もコロナの感染状況が続くとは思いますが、まずは利用者の方との接点を作りなが

ら、福祉の拠点としての役割をどのように活かせるかを模索しながら、運営方法を検討していきたいと思います。

## 令和2年度 24時間見守りサポート事業報告

### 1. 事業の目的

地域で暮らす一人暮らしの高齢者が多くおられることから、地域で安心して在宅生活を送られるような環境を作っていくことが必要となっている。その為、アルソックと協同して緊急時対応体制と24時間見守りサポート体制を構築し高齢者が地域で安心して暮らせる町づくりを支援していく。

### 2. 利用対象者等

(1) 利用定員 10名程度

(2) 利用対象者

おおむね65歳以上の在宅高齢者

(3) 利用できる校区

高浜校区を中心とする。

### 3. 対応職員

副施設長 特養及びSS生活相談員

### 4. サービス内容

- (1) 定期的な訪問の中で信頼関係を構築し見守りサポートを行い、いざというときに介護サービスに繋がられるように支援していく。
- (2) 健康相談等電話での相談に応じていく。
- (3) 緊急時にはアルソックと協同して対応していく。

### 5. 利用実績

○認知症で一人暮らしのデイサービスを利用されている方からの問い合わせがありましたが、しばらくして施設入所となり利用には至りませんでした。地域の介護サービスが充実していることからか、なかなか利用には繋がらない状況があります。情報提供も飾磨地域包括や自治会に協力して頂きながらチラシを配布する等、取り組んでいきます。

又、意見交換会でも提案を頂いたように、配食サービスも組み合わせる等、地域のニーズを把握しながら取り組み方を工夫していきたいと思っております。

## 令和2年度 地域貢献事業(介護者教室)事業報告

### 1. 事業の目的

高齢化に伴い、介護者も増加しているが、老老介護なども増え、介護者の悩みも大きくなっているため、地域住民を対象として介護方法等専門的な知識を情報提供していくと共に、介護の悩み等を相談出来るような取組みを支援していく。

### 2. 対象者等

- (1) 利用定員 20名程度
- (2) 利用対象者 地域住民
- (3) 利用できる校区

高浜校区を中心とする。それ以外の校区であっても利用可能とする。

### 3. 対応職員

地域連携委員会に所属している職員で対応。

### 4. 活動内容

- (1) 毎年 3月頃を目処に実施。実施内容については地域連携委員会の中で検討し、地域住民との打ち合わせを行いながら実施していく。
- (2) 実施時間  
午前10時 ~ 午前11時
- (3) 活動内容  
車椅子の操作方法、介護補助具の使用方法、介護技術について指導
- (4) 活動場所  
しかまの里 1階 デイルーム

### 5. 活動実績

今年はコロナの影響から、介護者教室の開催が出来ませんでした。

R3年度はコロナの感染状況をみながら、開催時期を検討し実施していきたいです。

その時は感染防止対策をとりながら、地域の介護者をサポートしていけるように取り組んでいきます。

## 令和2年度 地域貢献事業(地域コミュニティ)事業報告

### 1. 事業の目的

地域の中で、高齢者を支えるネットワーク作りが出来ることを目的として、世代間交流の出来るイベントの場を作り、交流を図っていく。そして、地域の高齢者と若い人とのふれあいの中で地域住民として支え合っていく意識が高まり理解の輪が広がっていくように支援していく。

### 2. 活動内容

- (1) 実施時期と内容
- |     |   |        |
|-----|---|--------|
| 6月  | ⇒ | 創作活動   |
| 8月  | ⇒ | おやつ作り  |
| 11月 | ⇒ | 演奏会    |
| 2月  | ⇒ | ゲーム実施月 |

- (2) 場所
- しかまの里 1階デイ食堂

- (3) 参加者
- 地域住民(高齢者から子供まで)  
ふれあいサロンなかよし利用者  
特養入居者及びSS利用者

- (4) 参加費用
- 無料  
※活動費は地域貢献事業費として計上していく。

### 3. 対応職員

地域連携委員会と経営会議メンバーと連携して対応。  
ボランティアとして中学や高校、専門学校の学生さんにも呼びかけていく。

### 4. 活動実績

今年はコロナの影響から、地域コミュニティ活動の開催が出来ませんでした。  
R3年度はコロナの感染状況をみながら、開催時期を検討し実施していきたいと思いません。

## 令和2年度 地域貢献事業(地域行事参加)事業報告

### 1. 事業の目的

地域行事に対する地域住民の参加者が減少している状況があり、地域活動力の低下がみられる。そこで、地域活動へ施設が参加することにより更なる地域住民の交流活動が展開されることを目的とする。地域活動が盛んになることで地域住民の連携がより充実し、福祉施設との連携の中で福祉相談等が充実して行えるようになる。その営みの中で、地域の高齢者が住みやすい街になることを期待して地域行事に参加していく。

### 2. 活動内容

- |            |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| (1) 地域参加行事 | 夏祭り 秋祭り とんど                         |
| (2) 地域行事場所 | 夏祭り⇒ 早川神社<br>秋祭り⇒ 早川神社<br>とんど⇒ 植木公園 |
| (3) 参加者    | 地域住民                                |
| (4) 実施時期   | 夏祭り⇒ 7月<br>秋祭り⇒ 10月<br>とんど⇒ 1月      |

### 3. 対応職員

地域連携委員会と経営会議メンバーと連携して対応。

### 4. 活動実績

今年はコロナの影響から、地域行事の開催自体が中止となり参加出来ませんでした。R3年度は地域行事の運営状況に応じて開催されれば、参加していきたいと思っております。その時は感染防止対策をとりながら取り組んでいきたいです。

## 令和2年度 地域貢献事業(災害時連携体制構築)事業報告

### 1. 事業の目的

植木地区で水害等災害が発生した時の支援体制について地域住民と共に協議していく。そして、災害が起きた時の対応方法についても検討していき避難活動が速やかに行えるように災害時の連携体制の構築に向けて取り組んでいく。さらに、地域高齢者が安心して暮らせる地域作りを自治会や行政と協同しながら支援していく。

### 2. 活動内容

- (1) 協議時期                      2ヶ月に1回の植木会議(生活体制連携会議)にて協議していく。
- (2) 協議場所                      植木自治会館2階
- (3) 参加者                          地域住民 自治会 植木クラブ 地域包括 社会福祉協議会  
しかまの里 管理者(施設長、副施設長、事務長補佐)  
地域連携リーダー

### 3. 対応職員

管理者(施設長、副施設長、事務長補佐) 地域連携リーダー

### 4. 活動内容

- (1) 植木会議(生活体制連携会議)にて地域の一人暮らし高齢者の把握や避難方法の確認等を行っていき、災害発生時に速やかに避難が行えるように打ち合わせをしていく。又、それに備えて地域での炊き出し等もどのように行えるのかを検討していく。
- (2) 年に1回の防災訓練にも参加していき、避難時の車椅子操作方法や緊急時対応等を指導していく。

### 5. 活動実績

通常は植木会議(生活体制連携会議)にて災害対策の打ち合わせをしていましたが、今年はコロナの影響から、会議の開催自体が中止となっています。しかし、高浜校区は定期的に防災訓練が充実して行えているので、12月1日には感染防止対策をとりながら、防災訓練を行い、しかまの里も救急処置の仕方を地域住民の方に教育しました。又、他地区の方も見学に来られて大変高評価を頂きました。

又、災害時に車椅子を乗せることの出来る公用車を地域の為に活用してもらおう等の提

案もしていき地域に貢献していきたいと思います。

そして、そのような活動を地域の他事業所とも連携して行えるように検討していきたいと思います。